

2012 年新年号

(年4回発行)

# 大阪金属プレス工業会報

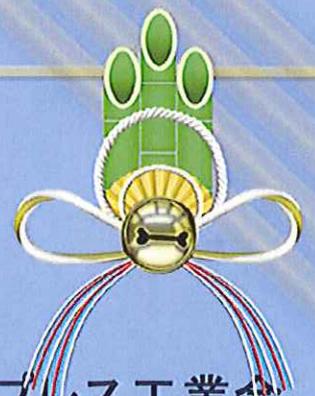
OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

News Report

OSMA

## ▼ TABLE OF CONTENTS ▼

-  **平成 24 年 年頭所感**
- ◇長尾正彦 近畿経済産業局長…… 2
- ◇松井一郎 大阪府知事…… 4
- ◇夏山享啓 大阪金属プレス工業会会長…… 6
-  **新年賀詞交歓会開催案内**…… 8
-  **機械災害予防セミナーのご案内**…… 9
-  **OSAKA 経営力アッププロジェクトのご紹介**…… 10



社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

## 年頭所感

“ JUMP UP! KANSAI ”



近畿経済産業局長 長尾 正彦

平成24年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、未曾有の複合的大災害である東日本大震災により、日本経済全体に大きな影響がみられました。大震災及び台風12号で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。我が国経済は、その後、サプライチェーンの立て直しや消費マインドの回復等により、持ち直しの動きもみられましたが、円高や海外経済の減速により、持ち直しの動きも弱まっております。また、歴史的な円高に加えて、法人税制、労働環境、環境制約、経済連携の遅れ、電力制約のいわゆる「6重苦」にあり、我が国経済は厳しい状況に置かれております。

こうした空洞化の危機に、関西も例外なく直面しております。加えて、昨秋紀伊半島を直撃した台風12号は、地域産業にも大きな被害をもたらしました。当局では、台風12号に係る特別相談窓口の設置や現地相談会の実施等の措置を講じてまいりましたが、今後も被災された中小企業等の支援に万全を期す所存です。

このような状況の下、政府では急激な円高や電力需給問題等による産業空洞化懸念に対応すべく第三次補正予算等を最大限に活用し、成長産業の国内立地促進や電力需給対策等に取り組んでいるところです。また、産業構造面からみれば、我が国経済は、従来のいわゆる「やせ我慢の縮小均衡経済」から「価値創造による拡大均衡経済」への転換が必要であり、国内とアジア大の二つの「イノベーションと需要の好環境」の構築に向けた取組が重要となっております。

近畿経済産業局では、これら施策や戦略の着実かつ迅速な実施に努めており、「国内立地推進事業」等第三次補正予算で実施される各種支援事業の普及・広報を通じた関西での積極的な施策展開を行っております。昨年11月には、こうした各種支援策を「見える化」し、広く事業者等の皆様に理解していただくため、当局関連施策集「JUMP UP! KANSAI」を発行しております。今後も最新情報の更新等バージョンアップに努めますので、是非御一読下さい。

また、政府では、電力需給見通しの厳しい関西において、12月19日から10%以上を目標とした節電要請を行っております。当局におきましても、「節電対策本部」を中心に関係機関との緊密な連携の下、節電の周知徹底に努めているところであり、「節電エコ補助金」や「自家発電設備導入補助」等の積極的な利活用と併せて、今後とも関西での電力需給安定化に全力で取り組んでまいります。

さらに本年、当局では、相対的にバランスのとれた産業構造を形成し、豊かな成長資源に満ちた関西経済が、危機に直面する我が国経済再生の強力な牽引力・原動力となるべく、以下の施策に重点的に取り組んでいく所存です。

第一に、ライフ分野・グリーン分野などイノベーションを持続的に展開する「イノベーションプラットフォーム」の構築・推進です。関西には医薬品関連産業や、医療機器開発に必要とされる高度なものづくり技術を持つ企業、世界的研究機関が、数多く集積しています。これらの強みを活かし、産学官のオープンイノベーションが自律的に展開される環境を創出し、世界屈指の医薬品、医療機器の発信拠点とすることを目指します。

エネルギー・環境産業分野では、関西には環境産業の代表とされるリチウムイオン電池等の大規模投資が集中しており、これら成長産業の立地支援やスマートグリッド・スマートコミュニティの形成促進、水ビジネス等関西の優れた環境産業の海外展開支援等を通じ、関西の国際競争力をさらに強化いたします。

第二に、中小企業の潜在力活用・経営力強化を通じて、強靱な地域経済基盤を構築いたします。優れたものづくり企業等が多数集積する関西において、現下の円高や産業空洞化等に適切に対応しつつ、資金繰り支援、技術力強化、海外展開支援等を通じて、中小企業が持つ潜在力を最大限に引き出し、経営力をさらに強化するための取組を推進していきます。

農業の産業化支援も重要な課題です。従来までの農商工連携や地域資源活用を推進するための支援に加えて、農政局や経済界とのより一層の連携の下、農業の産業化支援に向けた本格的な取組を強化してまいります。

第三に、デザインや感性を活かしたものづくりの活性化とクリエイティブビジネスの振興です。関西が持つ多様な文化の蓄積から生まれるデザイン製品は、海外からも高く評価されており、デザインを活かした関西ブランドの発信に努めるとともに、クリエイティブビジネスの市場形成に向けた取組を行ってまいります。

関西は、進取の気風に富み、これまで多数の新商品・新サービスを生み出し、日本の発展をリードしてきた歴史と伝統を有する地域です。我が国が再び輝きを取り戻し、世界の中で尊敬される国として再生するためには、関西の活性化が不可欠であり、国・自治体・経済界等の各主体がそれぞれの強みを発揮し、適切な役割分担の下、一丸となって取り組むことが重要です。

近畿経済産業局は、上述した各種施策の実施等を通じて、関西が持つ限りないパワーとエネルギーを顕在化し、関西の飛躍“JUMP UP! KANSAI”により日本再生に向けて邁進してまいります。

本年も経済産業政策への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

## 平成24(2012)年知事年頭所感



大阪府知事 松井 一郎

昨年は、東日本大震災という未曾有の災害が発生し、多くの方がお亡くなりになりました。そして、被災された方々は、年が明けましても、辛い状況の中、生活されていることと思います。改めてお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興が進みますよう、また、日本が元気になりますよう、大阪ができることに全力で取り組んでいきたいと、年の初めにあたり、思いを新たにしています。

私は、昨年 11 月、「大阪を変えてほしい」「大阪を再生させてほしい」と願う多くの府民の皆様のご支持をいただき、大阪府知事の重責を担わせていただくこととなりました。

知事として私がめざす大阪像は、府民が誇れる「強い大阪」、暮らしやすい「やさしい大阪」です。

現在、大阪経済や府民の暮らしは厳しい状況にあります。この現状に対する危機意識をしっかりと共有した上で、まずは、大阪の成長を成し遂げる取り組みを進めます。将来にわたって府民に必要なサービスを持続的に提供するためにも、府民の所得を上げ、税収を上げることが必要です。大阪という都市が、日本やアジアの中で存在感を増し、ヒト・モノ・カネを引き寄せる「稼げる」都市として発展し、その「稼ぎ」を、社会的に弱い立場の方々へのセーフティネットを築いていくことをはじめ、府民の安心・安全のための基盤づくりに投入していく、こうしたサイクルを大阪で実現したいと考えております。これには相当な努力と従来を越えた大胆な発想やチャレンジが必要となりますが、大阪の成長を成し遂げるべく懸命に取り組んでまいります。そして、誰もが安心して暮らせる大阪をつくっていく。これが、私の考える大阪再生の道筋です。

大阪には、大阪府庁と大阪市役所の間に立ちふさがってきた「見えない壁」があり、これによって、長年の間、都市としての一体的な発展が阻害されてきました。私は、府民の皆様「壁を取り払ってほしい」という思いを真正面から受け止め、新たな大都市制度をこの大阪で実現させることに努めてまいります。

地域のことは地域で決める。国ではなく、住民に最も近い地方自治体が、地域の実情に即して、自ら主体的に判断し決定できる体制。これが地域主権の本来の姿です。そして、大阪の再生のため、大阪のことは大阪で決める。制度や仕組みそのものを大阪から創り上げ、全国に発信していく。府民の皆様のご理解もいただきながら、「府市統合本部」において、府と市の類似事業の仕分け、広域行政の一元化など、府と市の間の課題整理等に精力的に取り組むとともに、国や地方制度調査会にも働きかけを行うことにより、大阪にふさわしい自治の仕組みの実現をめざします。

併せて、関西の各府縣市との連携・協調をさらに深めていきたいと考えています。発足後1年余り経過し、大きな成果を挙げている関西広域連合の場を大いに活用して、産業振興やエネルギー政策、広域インフラ整備など、関西全体の広域的なテーマに取り組んでまいります。

景気低迷の影響により、引き続き、極めて厳しい財政状況の下での府政運営が予想されますが、次世代に負担を先送りしないためにも、財政規律をしっかりと維持することが求められます。その上で、「選択と集中」を通じて、限られた財源や人員等の重点化を図り、将来の大阪を見据えた府政を戦略的に推進してまいります。

また、府政運営の基盤は、府民の皆様からの信頼にあることは言うまでもありません。信頼に基づく府政実現に向け、府政に関する情報が府民の皆様にきちんと届くよう、良い情報も悪い情報も包み隠さずオープンにしていきます。

私の政治家としての信条は、「信念と覚悟」です。信じる道をとことん貫く。その過程では、様々なあつれきが生じますが、それを乗り越えてこそ、新たな地平が拓けます。大阪を変えることは、日本を変えること。その目標に向かって、ただひたすら前進してまいります。

皆様の一層のご理解とご協力をお願いしますとともに、本年が皆様にとってよりよき年となりますよう心からお祈りします。

## 年頭のご挨拶



(社) 大阪金属プレス工業会  
会長 夏山享啓

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては新たな気持ちの中、穏やかに「辰年」の新年をお迎えになられた事と存じます。

平素は当工業会の事業運営にあたりまして会員各位をはじめ、関係行政機関、並びに関連諸団体等、多くの皆様方のご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて昨年は国内外を含め多くの自然災害がございました。まず忘れてはならないのは、3・11 東日本大震災、震災により多くの尊い命が奪われました。又、多くの方々が被災され家屋をなくされました。この紙面をお借りし心よりお見舞い申し上げます。

そして地震、津波による福島原発の事故、多くの人々が避難を余儀なくされました。又、関東地区をはじめ、かなりの地区で節電要請を受けました。まさしく本当に暑い夏でした。冬も又、地区により多少の違いはありますが 10%内外（対前年比）の節電要請を受けております。

新潟、和歌山、奈良では台風による水害で一時、孤立された方もおられました。海外ではトルコの二度にわたる地震、タイでの大洪水。タイでの大洪水では東日本大震災と同じく、サプライチェーン寸断が自動車、弱電業界を初めとする製造業に大きな打撃（生産調整）を与えました。

金融面では、ギリシャの財政破綻、イタリア・スペインの国債の暴落、その影響による超円高（対ドル 77 円内外 対ユーロ 102 円内外）で製造業を中心に財務内容が非常に悪化しています。今後、大企業を中心に海外（新興国）への生産シフトは益々加速するものと予想されます。我々、中小企業製造業者にとりましても国内需要の減少とともに、より一層のコストダウン要求を受ける可能性の高い状況となっております。しかしながら、我々

プレス業界は、色々な製品の必要不可欠な部品を生産している日本の製造業にとって無く  
てはならない基盤産業であります。今後一層の技術向上に努力し、業界が埋没しない様、  
関係行政機関には絶大なるご支援を期待してやみません。

この様に非常に厳しい環境下ではありますが、本年も会員の皆様方のニーズをきめ細か  
く反映した事業運営を行って参る所存でございます。従来よりの継続事業であります ISO  
取得の補助、リスクアセスメントの普及はもちろんの事、上部団体である日本金属プレス  
工業協会の事業の紹介、参加等もタイムリーにご報告申し上げたいと思っております。  
又、平成 25 年 12 月 1 日スタートの公益法人法の改正に伴う一般社団法人への移行も事務  
局を中心に着々と進めております。

本年 7 月には 4 年に一度のオリンピックがロンドンにて開催、5 月には韓国、麗水で万博  
が開催されます。又、政治の世界では 11 月に米国、12 月に韓国大統領選挙が行われます。  
どうか今年一年、何かと厳しく暗い話題が先行しておりますが、当工業会会員の皆様方の  
企業がより一層ご発展される事を祈念し、又、昨年同様工業会の事業運営により一層のご  
支援ご協力をお願い申し上げまして年頭の御挨拶にかえさせていただきます。



# 謹賀新年

本年もよろしく  
お願い申し上げます

(社) 大阪金属プレス工業会

副会長	副会長	副会長	副会長	会長
中 过	佐藤	新川	宮 永	夏山
		弘一	憲一	亨啓
康進	郎			

平成 24 年 正月  
2012

いぬたで  
*Polygonum Blamei*

あがまん木、  
夜来の雨に金工 映 した、  
花が香る 春 だ あがまん木也。  
ゆき東貨物 運 送 の 道 往 復 は  
毎朝 3 時 散 歩 道 へ 出 発 し  
西側 (野江) 側 の 踏 切 側、左 以  
に 見 込 け ず 3 時 の 踏 切  
15 分 前 着 生 じ じ じ  
立 寄 12 時 前 着  
コラ の 短 冊 女 に  
福 菜 菜 子 以 外、

「百合の花も  
たへた 若きころ 今 は 70 代 半  
お じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ  
前 着 2 時 野 江 側 へ 出 発 せ じ じ じ じ じ  
お じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ  
ま せ じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ  
大 阪 市 東 区 野 江 2-14-10.

実物は 26cm  
ほど 伸 び ます  
松 葉 二 郎  
美 子

会 員 各 位  
 顧 問・相 談 役 各 位  
 青 年 部 各 位

(社) 大阪金属プレス工業会  
 会 長 夏 山 享 啓  
 経 営 委 員 長 東 潤 一 郎  
 総 務 委 員 長 西 村 哲 也

**平成24年 新年賀詞交歓会開催のご案内**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成24年を迎えるにあたり、会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、恒例の新年賀詞交歓会を下記のとおり開催させていただきます。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

尚、賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます

敬 具

記

- 【日 時】 平成24年1月23日(月)  
 第1部 新春特別講演会 15:30~17:00  
 演題:勝ち残る会社の覚悟の経営  
 講師:トーマツイノベーション(株)  
 大阪支社長 前田寛之氏  
 第2部 新年賀詞交歓会 17:15~19:00

- 【会 場】 第1部 たかつガーデン 3階「カトレア」  
 第2部 " 8階「たかつ東中」

【参 加 費】 10,000円/人 (講演会は無料)

お振込先 三菱東京UFJ銀行上本町支店  
 (普)0487575  
 (社)大阪金属プレス工業会



志

トーマツイノベーションは経営者とともに歩みます。  
 人と組織に元気を創り出し、  
 経営者のあふれる志を明日の飛躍へ導きます。

私どもは中堅・中小企業専門のコンサルティング会社、  
 トーマツイノベーションです。

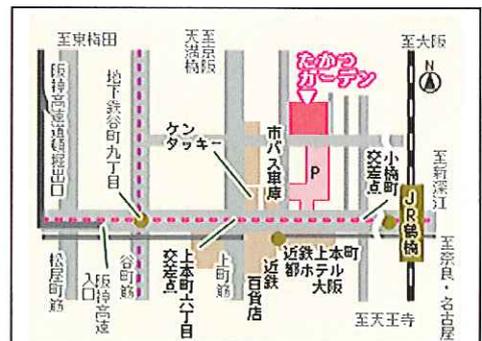
勝ち残る会社の覚悟の経営  
 ~強みをどう活かすか~

- ◆社長の覚悟が会社を変える
- ◆経営の本質とは
- ◆何を活かすか

(社) 大阪金属プレス工業会宛  
 FAX 06-6762-7633  
 mail omsa1@omsa.or.jp

平成24年 新年賀詞交歓会参加申込書

会社名		○印お願いします	
役職名	氏名	講演会	懇親会



厚生労働省 委託事業

機械ユーザー向け 機械災害予防セミナー  
大阪会場 (2012年2月28日)のご案内

厚生労働省 委託事業

機械災害  
予防セミナー  
2011

平成23年3月に厚生労働省「～機械メーカー向け～ 機械ユーザーへの機械危険情報の提供に関するガイドライン」が策定されました。

このガイドラインは、「機械包括安全指針」に示される「機械の残留リスク等に関する情報」の提供について、基本的な実施事項の具体的な目安を提示しており、機械メーカー等から機械ユーザーの皆様に対して提供される機械危険情報のあり方が示されています。機械ユーザーの皆様にとっては、機械による労働災害の予防、労働安全に関する取組の一つとして、提供される情報を踏まえたリスクアセスメントの取組がポイントとなります。

本セミナーでは、ガイドラインに基づいて提供される情報の活用方策等の演習を実施するとともに、機械災害予防のための基本的な取組である“機械包括安全指針”や“機械ユーザーのリスクアセスメントの基本的手法”の解説を行います。ぜひ、この機会をご利用ください。

【セミナーご案内 HP】 <http://www.tokiorisk.co.jp/seminar/etc2011020.html>

2012年2月28日(火)

午前の部: 機械ユーザーのリスクアセスメントの基礎

- 機械包括安全指針とは
- 機械ユーザーのリスクアセスメントの基本的手法 (リスクアセスメント簡易演習を含む)

開催日時

午前の部:  
10:30~12:30 (受付開始 10:00)  
午後の部:  
13:30~16:30 (受付開始 13:30)

カリキュラム

午後の部: 機械危険情報提供ガイドラインの活用

- 機械危険情報提供ガイドラインとは (残留リスク一覧・残留リスクマップを活用したリスクアセスメント簡易演習を含む)
- 継続したリスクアセスメントの実施に向けて

会場

大阪市中央区城見 2-2-53 大阪東京海上日動ビル 15F H会議室  
JR 京橋駅徒歩 5 分、京阪京橋駅徒歩 7 分、地下鉄大阪ビジネスパーク駅徒歩 5 分  
※ 駐車場のご用意はございません

定員

各回 100 名

※ 先着順 定員に達し次第、締め切らせていただきます。

**参加費 無料**

ご参加いただける方には、FAX または E メールにて受講票をお送りします。

なお、同一事業場で多数のお申込があった場合は、人数を制限させていただく場合があります。

【申込書】 下記の申込書に必要事項を記載の上、FAX (03-3213-1133)にてお申込ください。

Eメールでお申込の際は、下記申込書の内容および参加希望会場名を、[kikai@tokiorisk.co.jp](mailto:kikai@tokiorisk.co.jp) までお送りください。

お申込回	午前の部: 機械ユーザーのリスクアセスメントの基礎 セミナー開始 10:30	午後の部: 機械危険情報提供ガイドラインの活用 セミナー開始 13:30
フリガナ	※ ご希望の回に○を付けてください。両方の回への申し込みも可能です。	
お名前		ご所属
ご連絡先 受講票の送付先となります。必ずご記入ください。	電話番号: ( )	FAX 番号 ( )
	メールアドレス:	
	ご住所 〒	—

<個人情報の取り扱いについて> 送信していただいた個人情報は、セミナー運営およびそれに準じる情報提供の目的のために使用いたします。当社は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成のために必要な範囲を超えて登録者の個人情報を利用いたしません。なお、当社が求める個人情報を記入いただけない場合、または登録内容に不備がある場合には、お申込を受け付けることができない可能性があります。当社にご登録いただいた個人情報の照会、開示、情報が誤っている場合の訂正・削除等を希望される場合には、ご本人であることを確認させていただいたうえで、合理的な範囲で対応させていただきます。上記につき、セミナー申し込みをもって、同意したものとみなします。個人情報に関する問い合わせ先: 東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 経営企画室 管理グループ 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビル新館 TEL 03-5288-6580

お問合せ 機械災害予防セミナー事務局 tel:03-5288-6583 mail:kikai@tokiorisk.co.jp  
東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 製品安全・環境事業部内  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビル新館8F

大阪府内の中小企業者、個人事業主、創業予定者の皆様へ

# 経営のお悩みありませんか？

ビジネスの専門家（中小企業診断士・税理士・  
社会保険労務士）が直接赴き、あなたの会社・  
店舗の様々な相談に、適切なアドバイス

ご利用は  
**無料**

**たとえば、こんなご相談にお応えします**

何とか、顧客を増やしたい！	➡ ◎販路開拓支援 展示会への出展やHPでの効果的な販売促進をサポート
経営の方向付けをしたい！	➡ ◎事業計画作成支援 事業構想や内容、スケジュールなどについてアドバイス
新たに事業を始めたい！	➡ ◎創業支援 円滑な起業に向けた事業構想や資金計画等のアドバイス
帳簿のつけ方をマスターしたい！	➡ ◎記帳支援 帳簿のつけ方や決算の仕方をサポート
人事・労務関係のアドバイスが欲しい！	➡ ◎労務支援・人材育成支援 就業規則の改定や、社員の育成についてアドバイス

## 《お申込み方法》

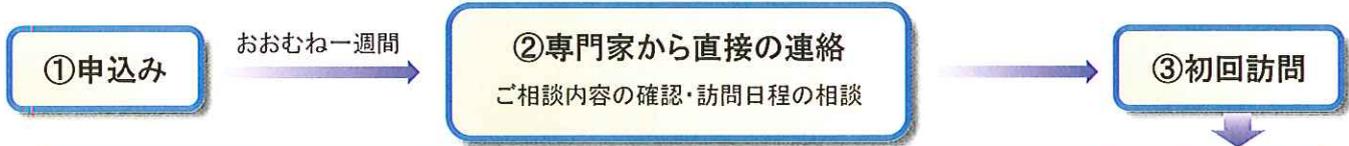
FAXで・・・裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAX 番号：06-6210-9504へ  
インターネットで・・・**大阪 経営力** で **検索** → 「インターネット申込み」から  
<http://www.pref.osaka.jp/keieishien/senmonka/>

## 《お問い合わせ先》

OSAKA 経営力アッププロジェクト事務局  
(事務局：大阪府商工労働部商工振興室経営支援課内) TEL:06-6210-9490

◆こんなご相談がありました◆

最近、顧客が減った。何とかもっと顧客を呼び寄せたい。(飲食業)



④支援の開始

STEP1 課題の分析

顧客が知り合い中心で、新規顧客の開拓ができていない。

STEP2 具体的支援

- ・季節ごとのイベント企画の提案
- ・店頭の雰囲気改善のアドバイス
- ・顧客単価をアップさせるためのメニュー改善を提案
- ・チラシ・ポップづくりの注意事項のアドバイス

このご相談の場合、約3ヶ月、全4回の支援でした。

⑤支援の終了

STEP3 取組の結果

ご相談者がアドバイスに基づき改善に取り組み……

イベント企画により新規顧客を獲得。リピーターも増加した。  
また、相談者に継続的に宣伝広告を実施する力がついた。

※支援期間及び支援回数は、支援内容により異なります！！



◆ご利用者の声◆

わが社の欠点がよく見えた。大きな視点からサポートしていただいた。  
何をどう改善すればよいかよく分かり、今後の経営を考えるよいチャンスになった。

【FAX用申込書】 FAX番号:06-6210-9504

フリガナ 事業所名	フリガナ 担当者名	部署・役職
事業所所在地 〒		
TEL	E-mail	
FAX		
業種	資本金(万円)	従業員数(名)
事業概要		
希望する専門家 (3つの中からいずれか1つを選択してください。)		※貴社が独自に税理士または社会保険労務士に依頼されている場合、 同資格の専門家は派遣できません。
<input type="checkbox"/> 中小企業診断士		<input type="checkbox"/> 税理士
		<input type="checkbox"/> 社会保険労務士
※中小企業診断士はご希望により指名できます。 詳しくは(社)大阪中小企業診断士会のHPをご覧ください。		◆ご希望の専門家名(中小企業診断士のみ):
ご相談を希望されるものにチェックを入れてください。(複数可)		具体的な相談内容をご記入ください。
<input type="checkbox"/> 支援機関等の紹介 <input type="checkbox"/> 労務支援・人材育成支援 <input type="checkbox"/> 資金繰り計画の作成 <input type="checkbox"/> 創業 <input type="checkbox"/> 記帳方法の習得 <input type="checkbox"/> マーケティング力の向上 <input type="checkbox"/> 事業計画の作成 <input type="checkbox"/> IT化 <input type="checkbox"/> 販路開拓 <input type="checkbox"/> その他		
チラシの入手先やお申込みのきっかけ		

※ご記入いただいた個人情報は、アンケート調査や相談・サービスの充実など、本府施策の推進以外では利用しません。

OSAKA 経営力アッププロジェクト事務局  
(大阪府 商工労働部 商工振興室 経営支援課 経営支援グループ)  
〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 咲洲庁舎 25階  
TEL:06-6210-9490 FAX:06-6210-9504



社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

[mail:omsa1@omsa.or.jp](mailto:mail:omsa1@omsa.or.jp)